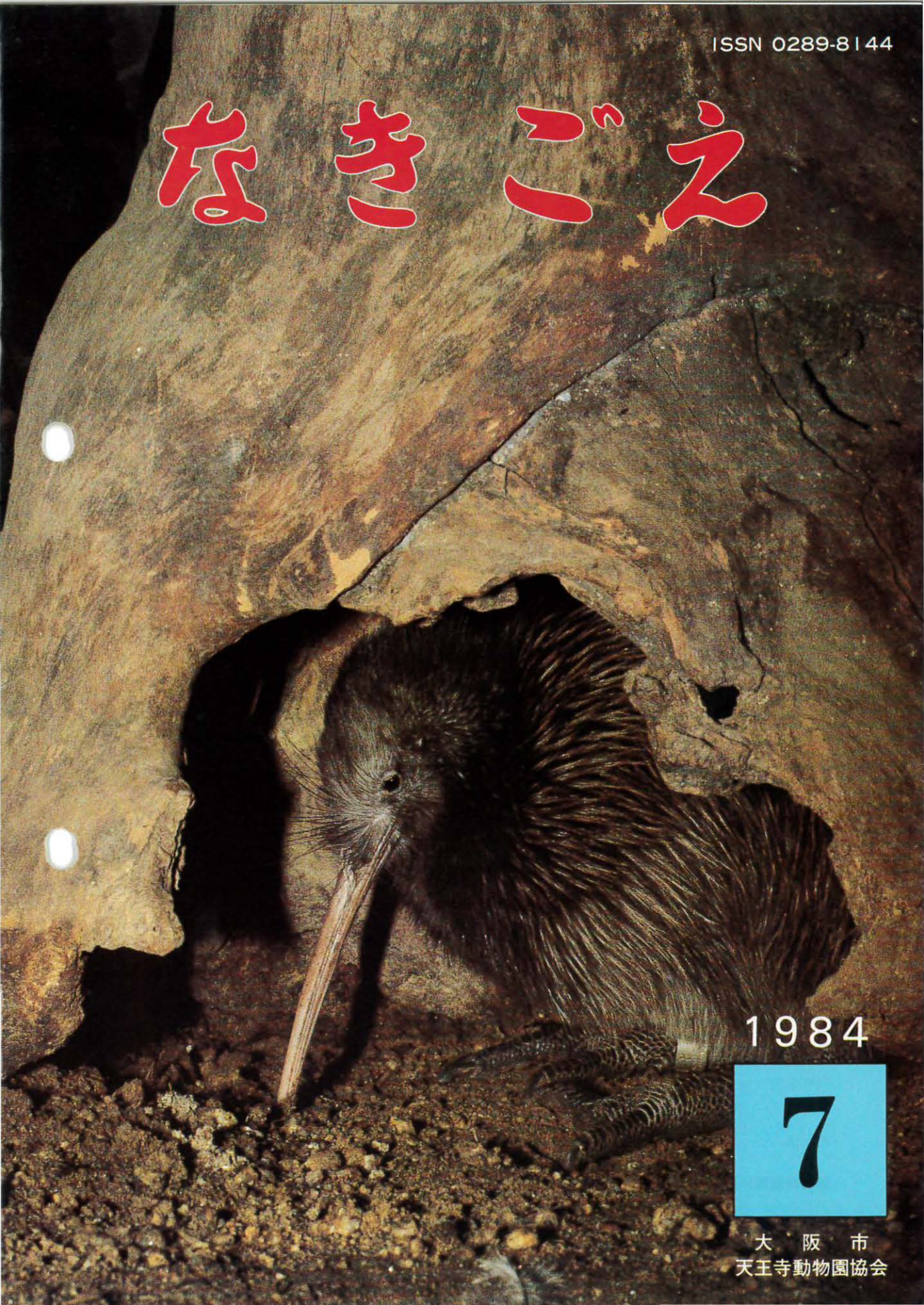


なきごえ



1984

7

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

“野生ニホンザルの乱獲と動物園”

石田尾 光利



ニホンザルのサル山は、年月がたつと、サルは齢をとり、子供も生まれず、サルじたいも汚らしくなって、見せ物としての値打ちも下落してきます。

すると、この群れを放出し、よそから新しい群れを移入します。

お客さんも、園も、大喜びといったところでしょう。

ところで、新しい群れは、もともと、どんなサルだったのでしょうか？ 「各地の農、山村地帯で“猿害”の名目のもとに乱獲された野生のニホンザル」というのが答え。

野生ニホンザルが農作物や樹木を荒らして困るといふ口実で、何十頭もの群れをゴッソリ捕獲するわけです。

うわべは、たしかに野生ザルは悪者に見えます。が、よく調べてゆくと、サルではなくて私ども人間

のほうに問題があることが、くっきり浮かび上がってきます。でも、そんなことには、おかまいなしです。

捕獲に先立って、ささいな被害額を数倍～数十倍に水増しすることが、行政ぐるみでなされています。

もっとも悪質だったのは、昭和58年3月の小豆島の乱獲。まったく被害がないのに捕獲されました。被害のないことを知りながら、香川県は捕獲許可を与え、捕獲業者は自ら進んで捕獲したのです。

いま、時代の潮流は、社会教育・自然保護にかんし、動物園が、社会に向かって、より積極的に発言し、ぐたい的行動をとることを求める方向に動いています。サル山が動物園のなかの一つの存在であるとはいえ、園外の世界、つまり広い社会のできごとと結びつけて考えなければならない理由が、ここにあるわけです。

私じしん、サル山を見て楽しむ市民のひとりですし、また、その意義も認めています。だからこそ、サル山それじたいが、野生ニホンザルの乱獲——自然破壊という社会性をおびた問題と、基本的な部分でウラ・オモテの関係にあるという事実を、まず、ひとりでも多くの人に知っていただけたら、と思うのです。

(ルポライター)

なきごえ7月号もくじ

動物と私	2
“ベニジュケイ、自然ふ化に成功”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
特別企画	6~10
キーウィ座談会	
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“キーウィ”

この7月2日で来園満14年を迎えるニュージー君が、巣穴で一休みしているところです。以前は写真に撮られることを大変いやがっていましたが、最近はカメラを向けても堂々としたものです。

(撮影：宮下実)



“ベニジュケイ、自然ふ化に成功”

5月24日、ベニジュケイのヒナが2羽ふ化しました。これは母鳥が抱卵してふ化させたもので、ベニジュケイの自然ふ化は日本では初めてのことです。母鳥に従って木に飛び上がったり、元気一杯のヒナ達の成育はすこぶる順調です。

(撮影：兼坂雅浩)

動物園 グラフ

“キーウィ特集”

この7月2日で来園満14年を迎えるニュージー君と、来園満2年を迎えるロンロン、ジュン、ダイの3羽近況をご紹介します。

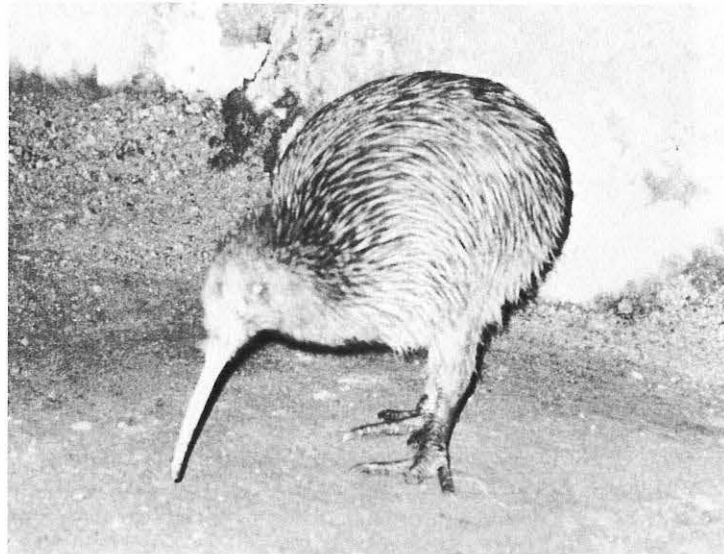
(撮影：大川 光 雄)

撮影日：6月18日

体重測定日：6月24日



巣穴から顔をのぞかせているジュン(♂)。右脚の黄色のカラーリングが識別の特徴です。体重は1,960g。



この日は珍しくニュージー君も登場、若い3羽に比べ、風格があります。



左がジュン、右がダイ。一番仲がよさそうなカップルです。



4羽の中で最も大きいダイ(♀)。体重は2,550gもあります。



一番小柄で、元気よく走りまわるロンロン(♂)。体重1,610g

5・6月の動物園日記

- 5 / 10. 野鳥展がはじまりました。
- 5 / 11. 水禽放養舎でカナダガンが4羽ふ化しました。
- 5 / 13. ニホンザルが2頭生まれました。早朝園内探鳥会を行ないました。保護で元気を回復したヤブサメ1羽を放鳥しました。野鳥相談を展示館前で4時間にわたり行ないました。
- 5 / 14. ニホンザルが1頭生まれました。
- 5 / 15. 動物の暖房のため昨年10月より稼働してい

- たボイラーは本日で終了しました。
- 5 / 16. コウノトリの雄が巣材を少し集めました。
- 5 / 17. シマウマの内部寄生虫の駆虫を行ないました。
- 5 / 18. 今月4日保護のユリカモメを放鳥しました。
- 5 / 20. 先月26日ふ化のキングペンギンのヒナが、親から未消化のアジの給餌をうけて窒息死しました。
- 5 / 21. アカハシハジロが1羽人工ふ化しました。
- 5 / 23. ニホンジカが1頭生まれました。今月5日保護のキビタキを放鳥しました。マナヅルが本年第1産目を産卵しました。
- 5 / 24. ベニジュケイが2羽自然ふ化しました。

- 5 / 26. キーウィの体重測定を行ないました。マナヅルが第2卵目を生みました。
- 5 / 27. ヤブシチメンチョウ舎に腐葉土を追加搬入しました。
- 5 / 28. 近畿動物園獣医師勉強会を開きました。
- 5 / 29. オオタカ1羽を保護しました。ニホンジカが1頭生まれました。
- 5 / 30. シュバシコウのヒナを5羽確認しました。
- 5 / 31. 下痢その他で治療を続けていたムササビ“長作”は、胃内に毛の塊ができる毛球症で死亡しました。
- 6 / 1. 毎年恒例の“羊の毛刈り”が行なわれました。

- ニホンザルが1頭生まれました。
- 6 / 2. 昨日に続き、ニホンザルが1頭生まれ、そのほかニホンジカ1頭とコブハクチョウ3羽がふ化しました。
- 6 / 3. キーウィ座談会が行なわれました。
- 6 / 4. コブハクチョウのヒナが一昨日の3羽に加え、さらに3羽誕生し計6羽になっていることが確認されました。
- 6 / 6. 巣立ちしたアオサギ4羽を出園のため捕獲し隔離しました。
- 6 / 7. キーウィ舎の冷房をはじめました。
- 6 / 9. ハリモグラの体重測定を行ないました。
- 6 / 11. ニホンザルが1頭生まれました。

特別企画・キーウィ座談会

7月2日は当園のキーウィ記念日です。といいますが、昭和45年の万国博覧会の際にニュージーランド政府から一つがいのキーウィを贈られたのが7月2日、そして一昨年、ニュージーランドのオトロハンガ・キーウィセンターから3羽のキーウィのヒナが贈られて来たのも同じ7月2日だったからです。このキーウィの記念日にちなみ、今回はキーウィと関係のあった方々と現在のキーウィ担当者に出席していただいて座談会を催しました。

出席者：土井良彦(園長)、中川道朗(元園長)
伊東重朗(飼育課長)
磯田啓子(前キーウィ担当)
大川光雄(現キーウィ担当)
西川徹二(現キーウィ担当)
宮下 実(獣医師)、榊原安昭(獣医師)
司会：大野尊信
記録：樽本 勲

司会：まず最初に万国博のときにキーウィが来たわけですが、

そのときの様子について元園長の中川さんからどうぞ。
中川：昭和45年に大阪で万博が開かれたのですが、これに合わせて各国から親善動物を贈るという話が持ち上がった



万博の記念で贈られたキーウィ
手前がメスのランドちゃん、後方はオスのニュージー君

て、たしか8カ国から26点の動物がやってきました。一番早かったのがオーストラリアのハイイロカンガルーでしたが、何とんでもニュージーランドから国のシンボルであるキーウィを贈るという話が突然にあり、我々を驚かせたものです。初めての動物に対する不安が大きかったわけです。7月2日の夜、大阪空港に到着しましたが、非常に美しい檻に入っていたわけですね。まるで宝石箱のようであったというのが印象です。これは何とんでもニュージーランドの人たちのキーウィにかける愛情がつくづく感じられるものであったですね。

司会：そのキーウィを最初から担当されていた磯田さんは、昨年定年退職されましたが、本日はこの座談会に出席していただいています。本当に餌の面と

か御苦労が多かったと思いますが……。

磯田：キーウィは暑がりやですから大変なつかい



前キーウィ担当の磯田さん

ました。いきなり大阪の真夏に飛び込んだのですから室温の調整が大変でした。餌はミミズを食べるとのことだけでは分かっていましたが、そのミミズをどうして手に入れるかが問題でした。最初は「ミミズ下さい」というキャンペーンをして市民の皆さんに応援していただきましたが、結局、自前で養殖にふみきったりしました。

中川：餌の点では、何度も手紙で問い合わせましたが、ミミズ以外に果物とかグリーンピースとかいろいろ食べるということであったのです。ところが実際には、ミミズのほかこれらのものは全く食べない。たまたま、プールに入れたドジョウを追っかけて食べているのが観察されたのです。



座談会風景

磯田：それからあとは、大きなパットでドジョウをやったりしましたが、ドジョウを食べることが確認されて大変楽にはなりました。また、キーウィは水の中に入らないということだったのですが、水の中で水を嘴ですくって飲むのも何度も見ました。

中川：7月2日にキーウィが到着して、7月9日には、ホリオーク首相が来園し贈呈式がありました。7月15日に天皇陛下がご覧になるということで、ロイヤルホテルまで、めすを持って行ったのです。2羽お見せできなかったのは、めすは割合慣れていたが、雄の方は大変神経質でビクビクして



中川元園長

いたからでした。あくる日、待従から電話があって、「キーウィは異常はないか」「キーウィの種名は何か」と陛下がおたずねであるということでありました。

磯田：陛下にも見ていただいたり、御心配をおかけして大変恐縮いたしました。

中川：キーウィは夜行性ということで、昼はぐっすり眠っており、動物舎としては、太陽光線はあまり必要でないと考えられるわけだが、それでいいのか。この点でいろんな人に聞いたら、深海魚と同じに考えたらいよいよ答えが帰って来た。昼間に室内を暗くするように、天窓に黒いビニール板を取付けたら、窓に暗幕をはったりの、昼夜逆転させるべくやってみたがコントローラをつけていなくて、失敗しました。1時間以上もかけて昼夜を演出するものでなければだめだったですね。キーウィは非常に神経質な動物ですからよけいにね……。

司会：それで入園者もいつも「キーウィは今ねています」という張り紙ばかり見て……。

磯田：とにかく、死なさずに飼うことに精一杯という感じで、一般入園者に見せるというところまではとてもという感じでした。「見えない珍鳥キーウィ」などと新聞で随分たたかれました。

司会：いつも夜遅くまでキーウィの観察をされていたようですが……。

磯田：皆さんでよく熱心にしていただきました。樽本係長も泊り込んでいただいたり、その記録は「なきごえ」にも載っていますし、私も徹夜は1回しましたが、暗い中をずっと目をすえていなければならず、身体が大変つかれますから大変でした。

司会：大川さんが徹夜したときはどうでしたか。

大川：最初のキーウィが来たときは2~3回だったと思います。寒いときにやって、毛布をかぶりながらというのや、夏には蚊とり線香を2~3本もくすべながら、というのが印象に残っています。

司会：餌が大変だったということですが、ミミズはどれくらい食べているかというのがきちっと分らなかったと思うし、キーウィの健康管理という面ではどうしていたのですか。

磯田：だから夜出てくるのを待ってそのときの態度で、アッ元気だなあーというのが初めて分るので、昼間は巣穴に入ってうずくまってねているだけです。昼間は巣穴に入らないうずくまっていたらいい。

司会：2羽が元気に一諸だったときはどうでしたか。

磯田：ドジョウをやると、2羽でドジョウの入れたパットを嘴をつっ込んでいたのを見えています。ドジョウを食べるときだけは仲が良かったのですが、その他は、動き回るときに出くわすと、パッとびっくりしたように飛びのいたりしていました。

司会：メスのランドちゃんは、何か月生きていたのですか。

磯田：約3カ月です。

樽本：死因はカビ性肺炎でした。当時、キーウィ舎は完璧でなく、手直し工事があって、キーウィを一時、走鳥舎の部屋に移したのです。キーウィがまだ安定していないのに、また環境を変えたりしてストレスもあったのか体調をくずして病気にかかったと思います。

磯田：今から思えば、メスは最初に見たときブワーとふくれていましたが、オスの方は、黒光りした羽毛がカチッとしまっていました。入園当初からやや体調が悪かったのでは……。

司会：結局、オスのニュージーが残ったのですが、12年間1羽で過してどうでしたか。



来園満14年を迎えるニュージー君

る部屋の工事のときは、ヘッチャラでした。しかし長生きしてくれました。

中川：実際、予想外に生きた…というとおこられるが、私が思うに担当の磯田さんとか他の皆さんの執念ともいえる情熱のおかげだと思います。新しい動物が入園したときには観察が一番大事なことです。夜行性ということで大変苦労が多かったと思います。長い間暗中模索でした。それから、キャンペーンのおかげで四国とか九州からも航空便でミミズが送られてきて感激しました。ところが好意にあまっていた夏の間は良かったのですが、秋になるとミミズが不足して来ました。そこで養殖という問題が起ってきました。その養殖に取り組んでいる最中に、シカゴの歯医者さんのゲルト・マイヤーさんが日本に来るたびに動物園を訪ねて来てくれ、ミミズの養殖を指導

してくれたのです。

榎原：最初はどのようなキッカケだったのですか。

中川：大阪のキーウィが餌のミミズを求めているという記事をアメリカの新聞で見たというわけです。そしてワシントン動物園のキーウィを見に行き、自分の裏庭で養殖の実験をしてそれをこちらで指導していただいたというわけです。ミミズを採集しやすいように重箱のようにかさねて養殖するのがいいとか、手の汚れるのもいとわず直接土をさわって、大変熱心でしたよ。

宮下：その方はその後どうしておられるでしょうか。一度交流をもっとみたいですね。

中川：もう大分お年ですが、あの方は日本が好きでアジア旅行のたびに必ず日本に寄っては大阪に来ておられた。前後6〜7回になるでしょう。

大川：ミミズ集めは、冬と真夏には大変苦労しました。園芸高校や大和川の堤防などに行き、ブタの糞の集積場やゴミの捨て場を掘り返したり、情けないくらいでした。

中川：養殖では、動物の糞も使ったがカバの糞が一番よかったようです。次がサイの糞でしたかね。

大川：調理場から出る残滓をすべて埋め込んで、この上に土を置き、麻袋で覆いをして水をまいたり。養殖場所も3カ所以上つくりました。

榎本：太いミミズが大好きでしたね。

磯田：小さいシママミミズより好きでしたが、少なくとも、シママミミズのようにネバネバしたところがなかったのが好きだったんでしょう。

中川：1日分のミミズ400〜500gを採集するのに3〜4時間もかかりました。なにしろピンセットで1匹1匹つまんでとるのですから。それで、何とか早くとる方法はないかと聞いて回ったら、ある大学の先生から、外国に行ったとき、釣り人がある機械を利用していると聞いたんです。それを公園局の電気担当の係員に作っていただいたのです。これはバッテリーを電源として、十一の電極棒を地中につきさすだけのものですが、電圧と土の湿度とのバランスが微妙でした。朝日新聞の記者が、甲子園球場のホームベース近くの芝生にミミズが沢山いるという話を聞きこんで、よし、そこでテストしようということになったのです。なるほどビューと出てきたので大成功でした。

土井：動物園の養殖場では、どうだったんですか。

磯田：湿度がグラウンドと違うのかうまくいかなかったですね。何か煙りが出てきて恐ろしくて(笑)

中川：電流が強すぎるとミミズが穴の中でショック死するのが出てこないみたいですね？(笑)。電極の間隔も微妙ですね。この実験が新聞にも出たので、大学の研究機関からの問い合わせが相次いだり、地虫の研究をしているとかで……。



土井園長

磯田：果物も食べるというので、キーウィフルーツも与えたのですが見向きもしませんでした。(笑)

大川：入った当初は、毎日11種くらいの餌をずらり



入園当初のエサのいろいろ

と並べましたが調理も大変でしたよ。干ブドウやグリーンピースも何粒か数えて与えたり。

磯田：パンもその後食べることが分かりました。少し甘味のあるクロパンが好きでした。熟したカキも食べました。

司会：結局、雄のニュージーが残ったのですが、12年間という長い間1羽で過ごしてきましたが、57年の奇



座談会風景

しくも同じ7月2日に3羽のひなが入園することになったのですね、長い間、1羽で過ごしていたニュージーのために何とか若いうちに繁殖できるメスをと

土井：土質の違いですかね。

磯田：やはり湿度が多すぎたのですね。

土井：動物園のミミズは個性が強いというか頑固ものだったのでは？(笑)

榎本：サバ虫やエビヅル虫、カナブンの幼虫も与えました。サバ虫は食べなくてエビヅル虫などはよく食べました。これは、高価で続かなかったですね。

いうことで、こちらの希望をかなえていただいたのですが……。

榎本：園から何とかメスのキーウィをくださいといった手紙を何度もニュージーランドに出したり、実際、磯田さん自身もオトロハンガキーウィハウスを訪ねたりしましたね、でも国鳥でもあり、二度といただけないとあきらめていました。

土井：毎年7月になったら、かさねてニュージーランドにキーウィの飼育の近況などを報告していました。ある日突然、オトロハンガのバリー・ロウ園長からアメリカに行く途中日本に立ち寄るが、3羽のキーウィのひなを持って行くので受け取って欲しいという手紙が舞い込んできました。それで、急拠、今のニュージーと同居させることができるか、当面、別居させる方がよいのか、場所をどこに求めるのかということ随分いろいろ内部で議論しました。その結果、狭いけれどもかつて観客通路のあった部分を使うことにし、見合をさせながら飼育したらということになり、突貫工事で入園に間に合せてのでした。

さて、私と宮下君とで成田までロウ氏を迎えに行ったのですが、日航や税関も大変協力してくれました。通関に時間がかかるので空調のきいた部屋を用意してくれたり……。写真取材は我々は刺激になるのでさけないと思っていたら、その心配をよそにロウさんは平気で取り上げて応じていました。一つはそれらが人工育雛したものだからですね。

宮下：大阪からミミズをさげて行きましたが、ホテルで部屋中にミミズがはい出して困ってしまいました。(笑)

司会：ひなのキーウィはニュージーランドで人工ふ化育雛したもので、人によく慣れているということですが、名前はついてますか。

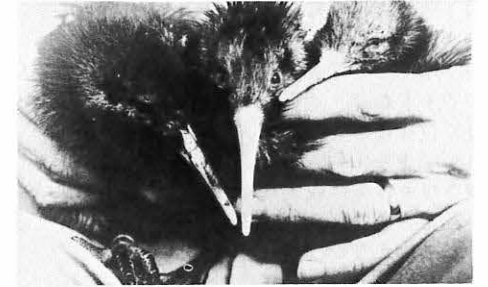
西川：オスがロンロン、ジュン、メスをダイと名付けました。

ロウさんに習った通り牛の心臓肉を細切りにしオートミールを少し煮てまぜ合わせたり、最初のうちはエサ作りに苦労しました。作った餌を最初から全部食べてくれたのでうれしく思いました。

キーウィ担当の西川係員

代勤のときに、ロンロンが嘴の先を折って出血したときはヒヤッとしました。昼の3時頃というのに巣箱から出てうろうろしていたので、よく見ると血がついていました。あわてて獣医さんに報告して処置してもらいました。あのときはじめて私はキーウィを抱いたのです。

司会：新しい3羽のキーウィはドジョウやミミズは食べないのですか。



一昨年入園した3羽のキーウィ

大川：ミミズは食べていますが、ドジョウは与えていません。とにかく心臓肉とオートミールの餌が一番ですね。

司会：ロウさんに教えていただいたことで他に参考になったことは……。

宮下：キーウィの保定のしかたですね。これまでキーウィをはれもののようにさわらなかったが、あの方はまるでニトリを捕えるように足をヒョイとつかまえて抱きかかえるのです。この保定法を習ったので今までずっと月1回ひなたちの体重測定ができるようになりました。

大川：体重測定は毎月末に公開して行っています。ほんの10分ほどですが入園者に喜んでいただいています。このあいだも朝一番に動物園に入



キーウィの体重測定

ってずっと時間が来るのを待っていた人や、わざわざ会社を休んで見に来る人とか……。

磯田：ワナにかかって臍がちぎられているニュージーは当初は大変人間不信で、こうはうまくいきませんでしたね。

大川：今でも私がニュージーのところに入ってもなかなか出て来ませんが、ひなの方だと10分もすると足にまとわりついて来るほどです。ロンロンが一番人なつくくて、2番目はメスのダイですね、ジュンはあまりこないです。一番行動範囲の広いのはダイで、他は半分ずつすみわけているみたいです。

宮下：体重の変化ですが、ダイは最近計ったのでは2600gです。月平均100gくらい大きくなっているときがありました。

大川：他の雄にくらべると一まわり大きいように思いますね。

磯田：来たときは3羽ともだいたい同じ大きさだったのですよね。

司会：ひなたちも、ぼちぼち成鳥になりつつあるという頃ですか。

榊原：キーウィは成鳥になるのにメスで3年かかるということです。入園時7カ月令だったので2才7カ月でまあそういうことになりますね。

成鳥になるとペアリングの問題が出てきますが今のひなの相性は、



一番大きなメスのダイ

大川：ジュンとダイが仲よしみたいですね。ニュージーと同居させて見なければなんともいえませんがニュージーとダイを合わせるといのも考えられます。

磯田：私がニュージーランドに行ったとき、キーウィのペアリングは大変むずかしいという話を聞かされました。

大川：人工同士のペアよりも野生で捕えられたニュージーとのペアの方が交尾や子育てなど上手ではないかと思いますが……。

磯田：長い間、メスと同居させていないのでニュージーがどんな態度に出るか、新居に移るまでにテストしてみる必要がありますね。

大川：ニュージーの部屋は広いのでここにひなのメスを入れて観察していれば大丈夫でしょう。

司会：将来的な構想として園長から何か。

土井：夜行性獣舎は当然キーウィがメインの展示となりますが、ここに移るまでに一定の答えを出しておかなければならないでしょう。一番よい方法をさがすようにしたいです。

榊原：ニュージーランドを今年4月に訪れたときロウさんから卵はどうかと聞かれました。まだニュージーランドでは、繁殖場は1ペアずつ屋外で飼育しています。展示用とは全く別に考えています。

大川：ある本では、野生のキーウィが巣穴近くで多く死んでいるのが見つかったが、これは卵づまりであったと…。私はこれが一番怖いと思います。

司会：ペアリングの話からもう産卵の心配ですか…… (笑)

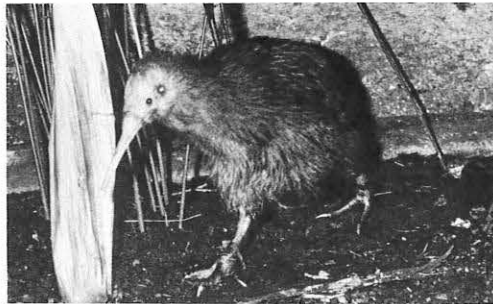
土井：そういう時期に来たらどん欲なまでに食べたりするんでしょうね、あんなに大きな卵ですから。

大川：人工餌ですから採食量は把握できます。私は産卵前は食欲がなくなるのではないかと……。

磯田：キジでも産卵の前は体型が変わってくるが、キーウィはどうかしら。

大川：キーウィは腹をすって歩くということですよ。

西川：エリマキトカゲのようにガニマタで歩くようになるのでは。(笑)



一番小さいオスのロンロン

大川：キーウィの繁殖についていろんなことをもって調査研究する必要がありますね。

宮下：キーウィは雄が卵を温めるということですが。

榊本：自然抱卵は無理でしょうね、人工ふ化させるべきですよ……。

榊原：現地でもほとんど人工ふ化させていますよ。

中川：私はワシントンの動物園のキーウィ舎を見学したことがあります。間口が2.7m奥行3.6mと狭く樹も1本もなく、天井には裸電球が1コつるされており巣箱は1コだけというものだが、そんなところで繁殖していました。だから大阪でもきっと繁殖すると思っています。来年はニュージーの入園15周年、また、開園70周年でもあり、ぜひビッグニュースを聞きたいものですね。



巣穴から出て来たニュージー

磯田：私も在職中の半分をキーウィと共に来たわけですから、大変楽しみにしています。それにしても、キーウィのような7000万年前からあまり進化していないような鳥が、私のうたう歌に合せるように合唱したり、帰るな、もう少しいてほしいとまとわりついたり、通せんぼするというような行動には感激しましたし、そういう心をもっていることに不思議を感じました。あれだけの熱心さにも何か私の人生観が変わりました。とにかくいろいろ思い出の多い鳥でした。

司会：それでは、この辺で、皆さんおいそがしいところお集りいただきまして大変ありがとうございました。

(文責：榊本 勲)

動物園ニュース

§ 出産ラッシュ!!

ニホンザルの出産は6月に入ってからも続いており、1日、2日、4日、13日と生まれています。合計9頭生まれたうち6頭が元気に育っています。

また、ニホンジカの出産も5月23日を皮切りに、29日、6月2日と3頭生まれています。

あと数頭は生まれそうです。

一方、北園では昨年に引き続き、タヌキの赤ちゃんが5月15日に7頭生まれています。1頭は当日死亡しましたが他は順調に成育しています。



鳥類では、4月末より抱卵に入っていたベニジケイが5月24日に2羽ふ化しました。自然ふ化は当園はもとより日本の動物園では初めてのことと思われています。

またコブハクチョウのヒナも6月2日から4日にかけて6羽ふ化しています。残念なこと

に4羽は死亡しました。

またふ卵器に入れたマナヅルの卵は有精卵であることが確認されていますし、イワトビペンギンやウスズミハッカも抱卵中であり、レアの産卵も始まっていますので、これからが楽しみです。

§ マクジャクの寄付

毎年、たくさんのキジ類を御寄付下さる奈良在住の日本画家、上村淳之氏より5月19日マクジャク3羽(♂1♀2)をいただきました。検疫終了後、キジ舎に展示する予定です。

§ メンヨウの毛刈り

6月1日の衣替えに合わせて、今年もメンヨウの毛刈りが行なわれました。

§ (社)日本動物園水族館協会、通常総会開催

日本の動物園と水族館の集まりである(社)日本動物園水族館協会の昭和59年度通常総会が大阪で開催されました。5月24日より3日間にわたって全国の94園館の園館長が参加され行なわれました。研究発表や京都大学の伊谷純一郎教授の記念講演の他に動物情

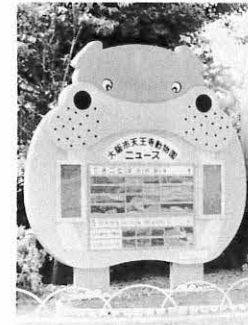
現在の飼育動物

(1984年5月31日現在)

哺乳類	10目	98種	371点
鳥類	20目	198種	632点
爬虫類	3目	37種	118点
計	33目	333種	1,121点

報センターの設置や動物の共同繁殖についても熱心な討議が行なわれ、大きな成果を残し終了しました。

§ ニュース告知板の寄贈



南大阪ライオンズクラブからニュース告知板とロングテーブル3基の御寄付をいただきました。

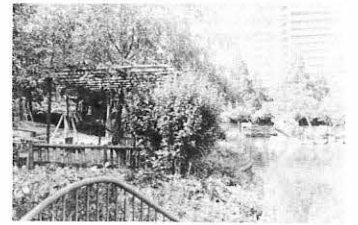
ニュース告知板は、中央門を入ったところに設置され、大きなカパの口にニュースを表示できるようになっています。赤ちゃん誕生などのニュースをお知

らせしますので御利用下さい。

§ 園内植物だより

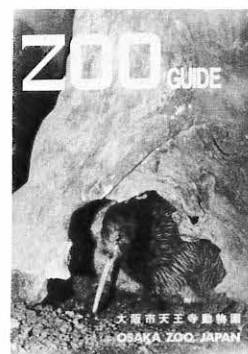
北園コウノトリ舎前と南園の日本庭園にしだれ

桜に棚を設置しました。来春には美しい花を御覧いただけるでしょう。また園内の池では初夏の風物詩ハナショウブが咲いています。



◎ お知らせ

○ガイドブック完成(B5判40ページ)



昨年からの準備をすすめていた新しいガイドブックが完成しました。動物園職員の撮影した写真が約110枚全てカラーで掲載されています。協会売店で、450円で販売しておりますのでお求め下さい。○ISSN番号について今月号より表紙右上にISSN0289-8144という番号が入っています。

これは国際標準逐次刊行物番号というもので、定期刊行物の識別や検索に利用されるものです。

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。9月までの休園日は下記の通りです。

7月16日(月)、8月20日(月)、9月17日(月)、

開園時間は午前9時30分～午後5時で、午後4時に切符売止めになります。

すてき満喫 近鉄クレジットカード



- 全国の近鉄百貨店グループ・都ホテチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 年会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。

近鉄百貨店

お申込み・お問合せは各店クレジットセンター
アベノ店・上本町店・東大阪店・奈良店・西京路店・東京店

近鉄百貨店グループ

四日市近鉄・京都近鉄・岐阜近鉄・枚方近鉄・和歌山近鉄・近鉄松下(徳山)・別府近鉄・三交百貨店(松阪・伊勢)・近鉄東海ストア

ひかりのくに

監修・阪口浩平
指導・宮武頼夫

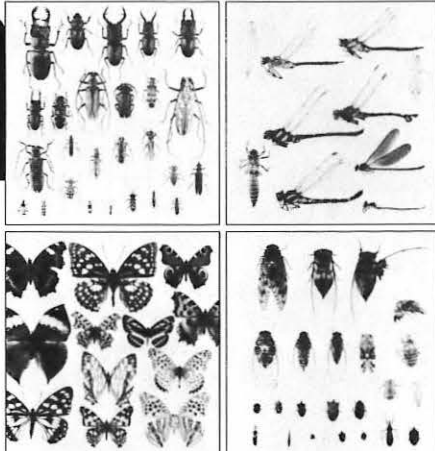
●オールカラー

むし くらしとかいかた

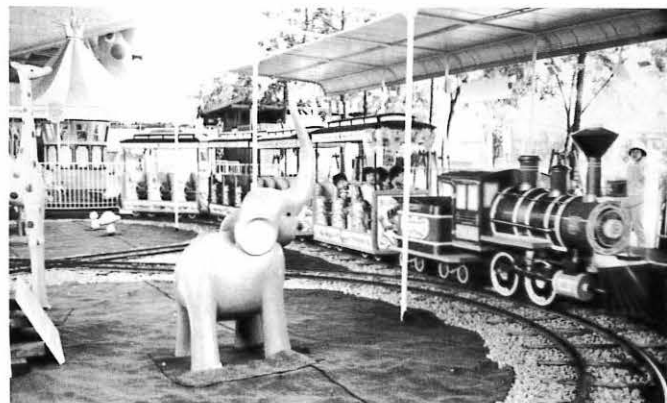
今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。
きっとすばらしいことに出会えるはずだ。

580円

ひかりのくに株式会社
〒543大阪府天王寺区上本町3-2



たのしいのりもの、が待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

天王寺動物園の機関紙

月刊「なきごえ」

ご購入をお奨めします。
年間購読料 1,100円 (含、郵送料)

お申し込みは、**大阪市天王寺動物園協会**へ
TEL 06-771-0201

世界初の最高感度 1600 新登場!

(カラープリント用フィルム)

かまの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031



フジカラー HR1600

ISO1600/33° 135-24枚撮

◎ 動物のことなら あらゆることにお役に立ちます。

- 飼育指導 (ペットよろず相談)
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写真会
- 撮影用動物モデルリリース
- 動物(ペット)、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

自然から学ぶおもいやり

株式
会社

アニマ

(いきもの110ばん)

☎ 06-863-1025 (代表)

〒561 豊中市利倉2丁目22-2

全国の愛犬家の共感を呼ぶ
無比の愛犬歌集 (絶賛再版)

歌集 犬の歌

動物文学会主宰
平岩米吉著 (天金美装・箱入 B6判・270頁 2500円・〒不要 直接申込で)

著者が、約40年の間に、共に暮した70余頭の犬の生と死を歌った419首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る写真47図を収め、犬の一生の生態写真集でもある。

動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659・振替東京5-9800

日本図書館協会選定
全国学校図書館選定

狼

その生態と歴史
犬科生態研究所長
平岩米吉著

A5判・320頁・
口絵挿絵等140図
定価2800円・〒300円

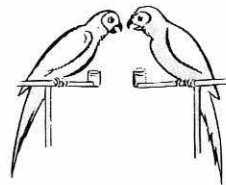
待望の日本狼の正史ついに完成!
〔改訂四版〕

☆犬科動物の研究者として、当代随一の著者が、数十年にわたり収集した正確な資料を、生態学の目をもって描いた空前の書。
☆日本狼は、大口の真神とあがめられた古代より、のちには病狼と恐れられ、やがて絶滅に至るまでの経緯を詳述。

主な目次

序狼への幻想と現実	5 狼の伝説
1 犬科の分類と解説	6 日本狼の特徴
2 犬と狼の関係	7 日本狼の絶滅
3 日本狼の歴史	終狼を飼った人々
4 狼狩の記録	

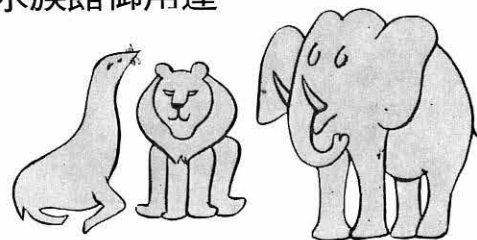
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地 振替・東京4-165425



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

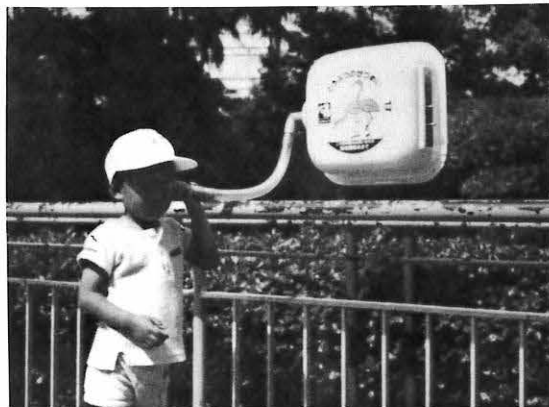
- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494

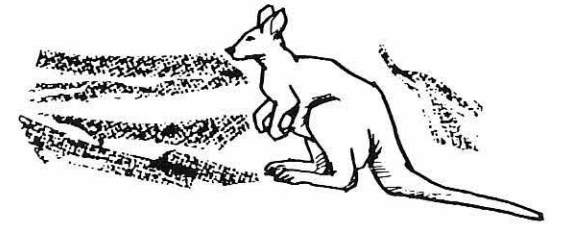
たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヵ所にあります

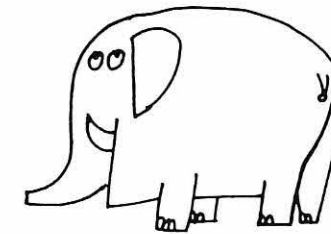
関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

……………ぼっちゃん
……おじょうちゃん
どうぶつえんへ……………
いらっしゃいませ……………
ごきゅうけいは……………
おしょくじは……………



動物園内北園
中央売店
☎(06) 771-0973

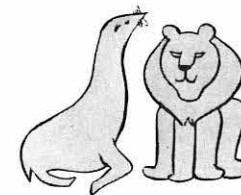
天王寺動物園内



南園売店

代表者 松谷良子
大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話(06) 771-7110番

園内でのお写真は…
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

◎随時係員が待機しておりますので説明に伺いました際は、よろしくお願ひ致します。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト
の名コンビ

自然の
おいしさ



雪印ヨーグル

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

なきごえ 昭和59年7月15日発行(毎月1回15日発行)

第20巻 第7号 (通巻227号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

電話 大阪 (06) 771-0201

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

振替口座 大阪 37823

1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

土井 良彦	伊東 重朗	小出 雅三	樽本 勲	中川 哲男	前田 豊彦
宮下 実	長瀬健二郎	榑原 安昭	森本 委利	大野 尊信	葭谷 文彦
農本 武志	野口 秀高	仲谷 登	柴田 総	兼坂 雅浩	堀 弘
大川 光雄					